

世界中の方々との絆を大切に、 高い技術とサービスで 「夢のある社会の構築」に 貢献します



震災復興への想い

まずはじめに、この度の東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

東京エレクトロングループでも東北地区にある3つの工場で被害を受けましたが、地震発生後直ちに対策本部を立ち上げ、スピード復旧に全力を挙げるとともに、物資・義援金を通じて被災地の支援を行ってまいりました。私自身も震災後まもなく現地に入りましたが、社員の復旧にかける意思は大変強く、昼夜を問わず、会社のため、お客さまのため、地域のために奮闘する姿を目にし、当社グループの底力を感じる機会ともなりました。さらに、工場のある自治体からは当社グループが先頭に立って復興に貢献してほしいとの強いご要望をいただき、当地に工場を持つ企業として、今後、より社業を発展させることで、長きにわたり地域に貢献していきたいとの意をあらためて強くしました。その思いを胸に、「人々の健全で質の高い生活を実現するために、先端分野におけるトップサプライヤーとして価値の高い技術・サービスを世界に提供することで、夢のある社会の構築、環境問題の対応にリーダーシップを発揮する」という当社グループの基本理念を実現していきます。

「お客さまの声」が私たちの励みに

被災されたお客さまの工場のサポートに関しましては、連日100名を超えるエンジニアを現地に派遣し早期立ち上げに尽力し、高い評価と多くの感謝の言葉をいただきました。

また、当社が世界中のお客さまにとって価値ある製造装置メーカーである証として、2010年度も数々の優秀サプライヤー賞をいただく栄誉に預かりました。単なる製品の供給者であるのみならず、「この先も一緒に仕事をしていきたいパートナーである」とのお言葉は、私たちに与えてくれた何よりも大きな励みになるものです。今後も、高い品質の製品と技術、確かなサービスを迅速に提供することで、お客さまの事業の発展に日夜貢献してまいります。

世界に広がる開発拠点

東京エレクトロングループが事業を展開するエリアは全世界に拡大しています。このような中、特に近年は開発拠点のグローバル化を推進しています。従来通り国内での開発に注力する一方、積極的に海外にも進出し、お客さまと共同で最先端技術の開発、評価を行う体制を構築しています。現在はアメリカのニューヨーク州アルバニーに開発拠点を有し、ヨーロッパのベルギーでも世界

的なコンソーシアムであるimecと最先端露光関連技術の共同開発を行っています。さらに、一昨年の台湾新竹市にテクノロジーセンターを開設したのに続き、2012年には韓国華城市にプロセス技術センターの新設を予定しております。技術をリードする世界のお客さまと上流から開発を一緒に行うことで、より優れた製品をタイムリーに市場に投入していきます。

低炭素社会実現のために

「Technology for Eco Life」をスローガンに、「東京エレクトロンの環境コミットメント」を定め、2015年までにお客さまの工場および当社グループの事業所や物流における環境負荷を半減することを目標に掲げ、環境活動を推進しています。2010年度から2011年度にかけては、上記の活動に加え、山梨工場と宮城新工場に太陽光発電システムを導入するなど、特に節電対策に力を注ぎました。

また、2008年より参入している太陽電池製造装置事業では、自社技術による薄膜シリコン太陽電池製造装置の開発に挑戦しています。薄膜シリコン太陽電池製造装置は当社がこれまで培った製造装置メーカーとしての技術力が最も活かせる分野であり、エネルギー変換効率向上の余地が十分にあります。昨今のエネルギー問題から太陽光発電への関心は高まっており、社会の要求に応えるためにも、革新的技術の創出にいっそうの努力を傾けていきます。

社員がいきいきと輝く夢と活力のある会社を作る

当社は製造装置メーカーとして、社会基盤の充実や人々の豊かな生活の実現に貢献する企業でありたいと考え、その使命感を経営者と社員が一体となって共有し、より誇りの持てる会社、夢と活力が湧く会社を目指しています。

「社員にはいきいきと輝いてほしい、社員の活力こそが明日の東京エレクトロンを築く」— こうした思いで、リーマンショック後の厳しい環境の中でも教育費を増額し、自己成長のための機会を提供してまいりました。また、「社員は東京エレクトロンの財産」とあるという考えのもと、

さまざまな階層に提供される能力開発プログラム、貢献度に応じた公正な評価制度、また、若くても力のある社員を責任のある職務に抜擢する人材登用制度などを採用しています。

なお、社員が夢と活力を持って目標に邁進するためには、自社に対する愛着と誇りが醸成されることも必要と考え、最近、スポーツイベントへの協賛やテレビCM等を利用したコーポレートブランディング活動を進めています。社員からは、自社の知名度が上がることで身が引き締まる、あるいは親類や友人に自分の仕事を知ってもらえて誇りに思うなど、前向きに受け止められています。

企業市民活動を通じて地域社会とともに歩む

東京エレクトロングループは地域に密着した良き企業市民でありたいと考えています。地域貢献の一環として、宮城県においては、小・中学生を対象とした理科実験の出前授業を行い、次世代を担う子供たちの教育支援活動を行っています。また、米国では、グリーン電力の購入や水の使用量の削減、そして地域コミュニティと共同での清掃活動などが評価され、「Going Green Award」を受賞しました。

今後もこのような取り組みを地道に継続し、地域の皆さまとともに歩んでいきたいと考えております。

最後に、東京エレクトロングループが優れた製品、技術、サービスの提供を通して社会の発展に貢献していくためには、企業として健全かつ持続的な成長を遂げていくことが私たちに課せられた最大の社会的責任であると考えます。これからもステークホルダーの皆さまのお声を真摯に受け止めながら、基本理念に基づくさまざまな取り組みを実行してまいります。今後とも変わらぬご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

東京エレクトロン株式会社
代表取締役社長

竹中博司